

〈(仮称)馬車道駅直結 横浜北仲タワープロジェクト〉

横浜市最高層・最大規模(※1)の分譲住宅、超高層ミクストユースタワー着工

～分譲住宅・商業・文化施設等が集積「オークウッド」が横浜エリア初進出～

三井不動産レジデンシャル株式会社、丸紅株式会社は、横浜市中区で推進中の大規模開発事業「北仲通北再開発等促進地区地区計画」(約7.5ha)の中心に位置する超高層ミクストユースタワーの建設に2016年11月1日着手しましたので、お知らせいたします。なお、竣工は2020年2月を予定しております。

本計画は、みなとみらい21地区と関内地区を結ぶ北仲通地区に、横浜市最高層・最大規模(※1)となる総戸数1,100戸超の分譲住宅と宿泊施設、商業施設、文化施設等を一体的に開発するものです。東急東横線直通横浜高速鉄道みなとみらい線「馬車道」駅に直結する利便性の高い立地に、新たなランドマークが誕生します。

本計画の特長

- (1) 「馬車道」駅直結徒歩1分。横浜の新たなランドマークとなる地上約200m超高層ミクストユースタワー
- (2) 「オークウッド」が横浜エリア初進出、地上約150mの展望フロアを併設
- (3) 1,100戸超の分譲住宅を中心に、宿泊施設、商業施設、文化施設等からなる横浜市最高層・最大規模のミクストユースタワー
- (4) 横浜市認定の歴史的建造物を文化創造の核として保全・復元
- (5) 2020年6月末(予定)に移転する横浜市新市庁舎に近接～横浜市の新たな中心地区へ



完成予想CG(※2)

※1 1993年以降に横浜市内で販売された分譲マンションで58階建ては最高層となります。また1993年以降に横浜市内で販売された分譲マンションで1棟構成1,100戸超は最大戸数となります。対象期間1993年～2016年8月15日までのMRC調査・捕捉分に基づく分譲マンションデータによる(2016年MDM9月号)データ資料:(有)エム・アール・シー2016年10月現在

※2 現地より約900m地点・高さ約8mの場所にて撮影した写真にCGを合成

※3 現地より約600m地点・高さ約273mの場所にて撮影した写真にCGを合成

(1) 「馬車道」駅直結徒歩1分。横浜の新たなランドマークとなる地上約200m超高層ミクストユースタワー

約7.5haの大規模開発が進行中の当地区は、特定都市再生緊急整備地域に指定されたエリアで、都市景観100選受賞のみなとみらい21エリア、古き良き港町横浜の面影を伝える関内・野毛エリア、横浜観光の名所山下公園を徒歩圏とする横浜都心臨海部に位置しています。

本計画は、北仲通地区の中でも最高層となる地上58階建て・約200mの超高層ミクストユースタワーとなり、横浜の新たな港景観を創出すると共に、タワー足元の広場やギャラリーで都市の賑わいを生み出します。また、東急東横線直通横浜高速鉄道みなとみらい線「馬車道」駅に直結し、高い利便性を提供すると共に、新たな人の流れを作ります。



完成予想CG(※3)



周辺エリア

(2) 「オークウッド」が横浜エリア初進出、地上約 150m の展望フロアを併設

46 階には地上約 150m の高さから美しい横浜都心臨海部を 360 度見渡せる展望フロア(面積:約 880 m²)を設置します。1 階から直通の高速エレベーターが利用可能で、みなとみらいやベイブリッジの景観が楽しめます。

「オークウッド」はサービス付き長期・短期滞在型宿泊施設であり、横浜エリアに初進出となります。1960 年に創業の「オークウッド・ワールドワイド」はロサンゼルスに本社を置き、北米、アジア、ヨーロッパに約 25,000 室以上のサービス付き長期・短期滞在型宿泊施設を運営しており、世界のエグゼクティブに利用されています。アジア圏では、六本木の東京ミッドタウンをはじめ、上海、香港、バンコク、ソウルなどで、28 物件・約 4,000 室以上を運営展開しています(2016 年 10 月現在)。

本計画では「オークウッド」のロビーが 46 階に設けられ、51 階までの各フロアに客室(計 175 室)を展開。ビジネス利用の長期滞在から観光利用の短期滞在まで、幅広いニーズに対応いたします。ロビー階には、ラウンジやレストランも併設し、素晴らしい眺望とともに極上のくつろぎ空間とサービスを提供します。



建物完成予想図

<オークウッドの国内展開事例>



オークウッドプレミア東京



オークウッドプレミア東京ミッドタウン



オークウッドレジデンス六本木ティーキューブ

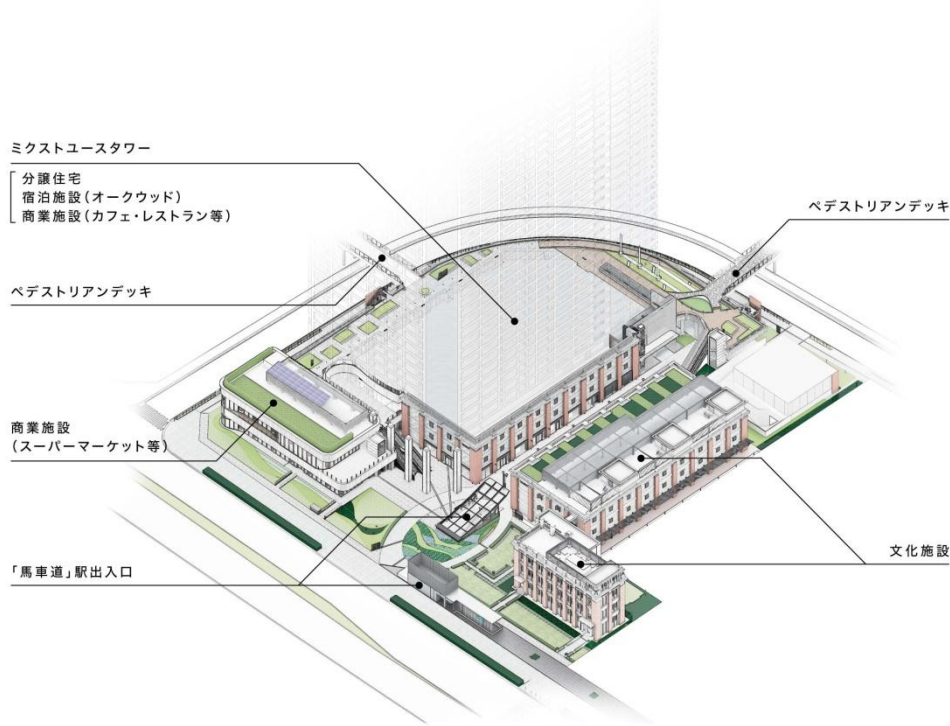
(3) 1,100 戸超の分譲住宅を中心に、宿泊施設、商業施設、文化施設等からなる、横浜市最高層・最大規模のミクストユースタワー

5 階から 58 階(46～51 階を除く)は総戸数 1,100 戸超の分譲マンションとなり、みなとみらいを借景とする眺望とインナーハーバーを遥か彼方まで見渡せる絶好のロケーションでの暮らしを実現します。また、居住者専用の動線として、住宅高層階エレベーターから 46 階展望フロアや宿泊施設「オークウッド」のロビー階へのアクセスが可能。居住者が快適に利用できる施設を計画しています。さらに、多言語対応のコンシェルジュ(対応時間未定)や、敷地内には多言語サインを設置し、グローバル化に対応した都心居住のまちづくりを実現します。

低層階の 1、2 階には、延床面積約 6,000 m²の商業・文化ゾーンを展開します。スーパーマーケットの他、マンション居住者や近隣住民の生活利便を高め暮らしを豊かにするライフスタイル提案型のカフェやレストランも軒を連ね、北仲通地区の賑わい創造の一翼を担います。

「(仮称)馬車道駅直結 横浜北仲タワープロジェクト」全体概要

所在地	神奈川県横浜市中区北仲通五丁目 57-2 他(地番)
交通	横浜高速鉄道みなとみらい線「馬車道」駅下車徒歩 1 分(サブエントランスより。メインエントランスから徒歩 2 分)、JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅下車徒歩 8 分(コーチエントランスより)
用途地域	商業地域
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上 58 階建、地下 1 階建
敷地面積	13,135.37 m ²
建築面積	8,760.12 m ²
延床面積	168,225.33 m ²
総戸数	1,100 戸超
建物竣工予定時期	2020 年 2 月
設計・施工・監理	鹿島建設(株)



低層部構成図

(4) 横浜市認定の歴史的建造物を文化創造の核として保全・復元

建物基壇部には、日本の産業黎明期の生糸輸出拠点となった倉庫群の復元を行い、横浜市認定の歴史的建造物である「旧横浜生糸検査所付属生糸絹物専用B号倉庫およびC号倉庫(倉庫棟)」の保全を行います。関内地区の歴史ある街並みを取り込みつつ、商業施設や文化施設を回遊することができるデッキをみなとみらい側に設置し、水辺の潤いを感じながらみなとみらいの都市景観を楽しめる横浜の新たな名所を創出いたします。また、復元された歴史的建物で構成する約50m超のガレリア(吹抜歩行者用回廊)は、歴史的街並みを感じながら多様な利用者が行き交う、賑わい創出の場となります。敷地全体は、緑地率20%超(約2,950㎡)で、ふんだんに緑を配した広場や緑道が設けられ、季節ごとの彩りや潤いにより経年優化していきます。

超高層タワーとガレリアでつながる倉庫棟や横浜市指定有形文化財「旧横浜生糸検査所付属倉庫事務所(通称:北仲 BRICK)」には、音楽・アートなどの発信拠点となる文化施設を誘致し、生活者のライフスタイルに彩りを提供するとともに、文化芸術振興を積極推進する「横浜市文化芸術創造都市施策」に貢献します。



ガレリア完成予想図

(5) 2020年6月末(予定)に移転する横浜市新市庁舎に近接～横浜市の新たな中心地区へ

2020年6月末(予定)には、横浜市庁舎の北仲通南地区への移転が予定されています。これにより、北仲通地区は行政機能と都心型住宅、ホテル、商業、文化、プライダル、オフィスなどが集積する横浜市の中心地区へと発展していくことが期待されています。



北仲通地区



周辺案内図

以上